

科目	言語文化		学年	1	指導クラス	1組		
						2・3組		
単位数	2	使用教科書	新編言語文化 (大修館書店)		副教材・問題集等	新編言語文化 学習ノート (大修館書店)		

1. 科目の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言語がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2. 評価の観点の趣旨

知識・技能（技術） a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしていると共に、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

3. 指導及び評価計画

月	指導の領域 指導時間			単元名	指導項目(単元目標)	主な言語活動	評価の場面・方法	評価の観点			教材名
	書	読	読					a	b	c	
4			4	随筆	【思・判・表】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて、叙述を基に的確に捉える。	我が国の言語文化について著者の考えを読み取り、言葉の役割を把握し、題名の意味するところを解説する。	行動観察 ノート	○ ○	○	○	言葉の森を育てよう
	1				【思・判・表】 「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にする。	日本語の自然に関連する表現について調べたことや感じたことなどを文章化して発表する。	行動観察 ノート 発表	○ ○	○ ○	○ ○	
5		5		古文	【思・判・表】 「読むこと」において、文字や言葉の変化、古典と現代の言葉のつながりについて理解する。	本文を音読し響きやリズムを味わう。おおよその内容を理解し交流する。	行動観察 ノート 音読	○ ○ ○	○	○	いろは歌 古文冒頭選
6		6			【思・判・表】 「読むこと」において、文章の構成、展開などについて叙述をもとに的確に捉えている。作品に表れているものの見方や感じ方、考え方をとらえ、内容を理解する。	語句の意味を調べる。登場人物の行動と心理を読み取り、話し合う。 高名の木登りの言葉の意味を抑え著者の主張を読み取り発表する。	行動観察 ノート 発表	○ ○	○ ○	○ ○	児のそら寝 徒然草 高名の木登り

6	1		前期中間 考査					○	○		
7 8		5	小説	【思・判・表】 「読むこと」において、 文章の構成や展開、表現 の仕方、表現の特色につ いて評価する。	作品の形式や場 面を理解し、会話 のやりとりから、 語り手、登場人物 の心情の変化を 読み取る。	行動観察 ノート		○	○	○	とんかつ
	1			【思・判・表】 「書くこと」において、 自分の体験や思いが的確 に伝わるよう、文章の種 類、構成、展開や、文体 、描写、語句などの表現 を工夫する。	小説の主題につ いてノートにま とめ発表する。	行動観察 ノート 発表		○	○	○	
9	9		漢文	【思・判・表】 「読むこと」において、 自分のものの見方や感じ 方、考え方を深め、日本 の言語文化について考え を持つ。	例文を音読する。 例文を書き下し 文に改め現代語 訳する。 練習問題に取り 組む。	行動観察 ノート 音読 句法テスト		○	○	○	訓読の決まり 格言 再読文字
9	1		前期期末 考査					○	○		
10		4	評論	【思・判・表】 「読むこと」において、 文章の種類を踏まえて、 内容や構成、展開などに ついて叙述を基に的確に 捉えている。	本文中の具体例 に着目して著書 のいう「足し算」 についての主張、 更に日本文化の 特質についての 結論を読み取る。	行動観察 ノート		○	○	○	足し算の文化
	1			【思・判・表】 「書くこと」において、 自分の体験や思いが的確 に伝わるよう、文章の種 類、構成、展開や、文体 、描写、語句などの表現 を工夫する。	本文に関連する 身近な体験や具 体例を記述し発 表する。	行動観察 ノート 発表		○	○	○	
11 12	12		古文	【思・判・表】 「読むこと」において、 文章の内容や構成、展開 などについて、叙述を基 に的確に捉えている。 場面の変化や登 場人物のやりと りを読み取り、歌 意から心情を読 み取る。	古語「うつくし」 の意味を調べ、著 者の主張を読み 取り交流する。 場面の変化や登 場人物のやりと りを読み取り、歌 意から心情を読 み取る。	行動観察 ノート		○	○	○	枕草子 うつくしきもの 伊勢物語 芥川
	1			【思・判・表】 「書くこと」において、 自分の体験や思いが的確 に伝わるよう、文章の種 類、構成、展開や、文体 、描写、語句などの表現 を工夫する。	著者と生徒の「う つくし」の感覚を 比較し文章化し て発表する。 歌意に込められ た心情をまとめ て記述し、本文か ら推測されるこ とについて自分 の考えを記し交 流する。	行動観察 ノート 発表		○	○	○	
12	1		後期中間 考査					○	○		

1			7	小説	【思・判・表】 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価する。	時代状況や場面 緒変化、登場人物 の行動と共に推 移する心情を的 確に読み取り、話 し合う。 『今昔物語集』と 読み比べる。	行動観察 ノート 発表	○ ○	○ ○	○ ○	羅生門
	1				「書くこと」において、自分の体験や思いが的確に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現を工夫する。	結末の意味や印象、登場人物のその後について、自分の意見を文章化し発表する。	行動観察 ノート 発表	○ ○	○ ○	○ ○	
2		8		漢文	「読むこと」において、内容や構成、展開などについて、叙述を基に的確に捉えている。作者のもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。	例文を音読する。訓読の決まりの基づき、書き下し文に改め、現代語訳をする。例文が伝える意味を解読し交流する。	行動観察 音読 ノート	○ ○ ○	○	○ ○	故事成語 論語
	1				「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にする。	故事成語の意味や孔子の教えを踏まえて、身近な問題に結び付けて文章化し、発表する。	行動観察 ノート 発表	○	○ ○	○ ○	
3		1		学年末 考 査				○	○		
指導 時 数	書 く	読 古	読 近	【言語文化】2単位で実施する場合 書くこと 5単位時間程度を配当 読むこと [古典] 40～45単位時間程度を配当 読むこと [近代以降の文章] 20単位程度を配当 (※実施単位数に応じて領域ごとの指導時間数を増やすこと)							
	6	44	20								
	70										